

令和6年6月18日
国土交通省

【概要書】

令和5年度 観光の状況

令和6年度 観光施策

標記の報告書を衆議院議長に提出いたしました。

連絡先は省略。

令和6年版観光白書 について

観光庁
令和6年6月

観光白書は観光立国推進基本法第8条に基づき毎年国会に提出。以下の三部で構成。

第Ⅰ部 令和5年 観光の動向

第1章 世界の観光の動向

第2章 日本の観光の動向

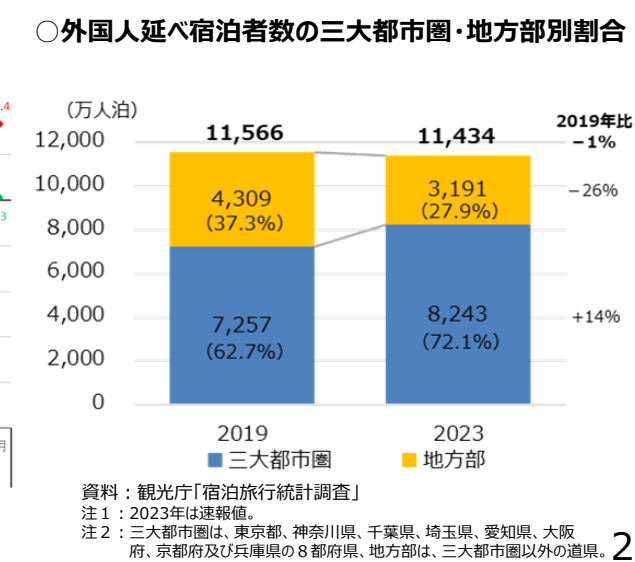
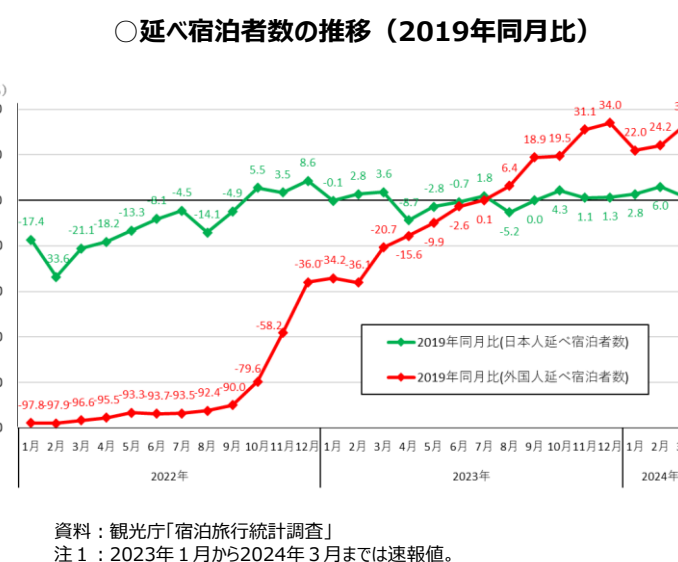
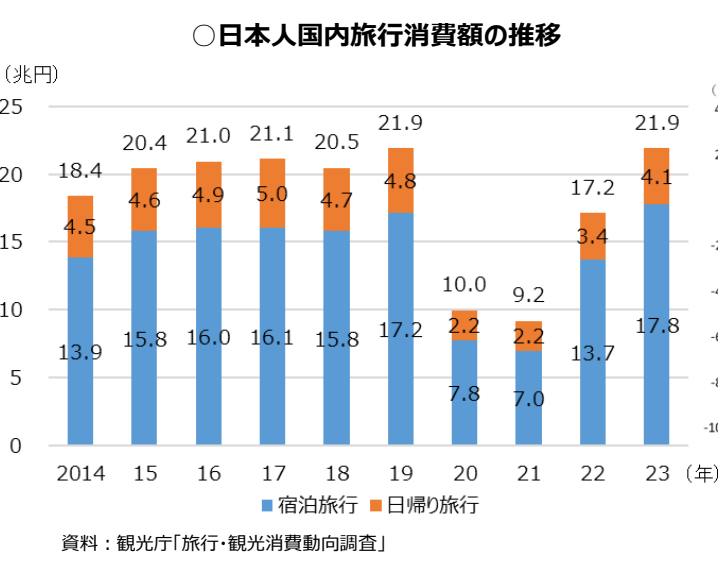
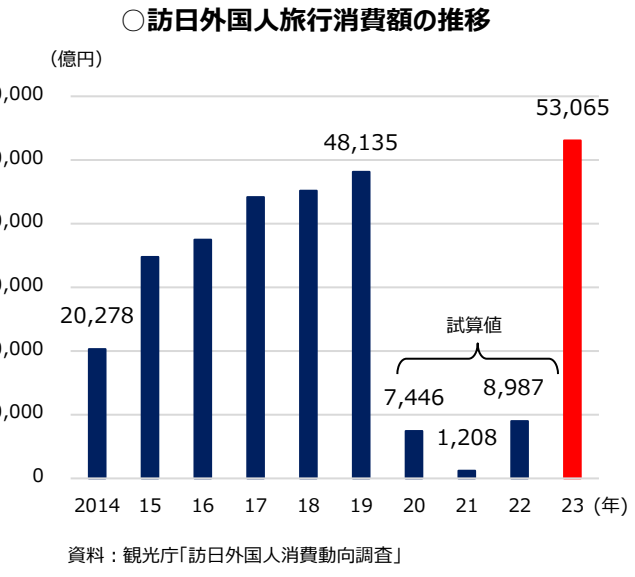
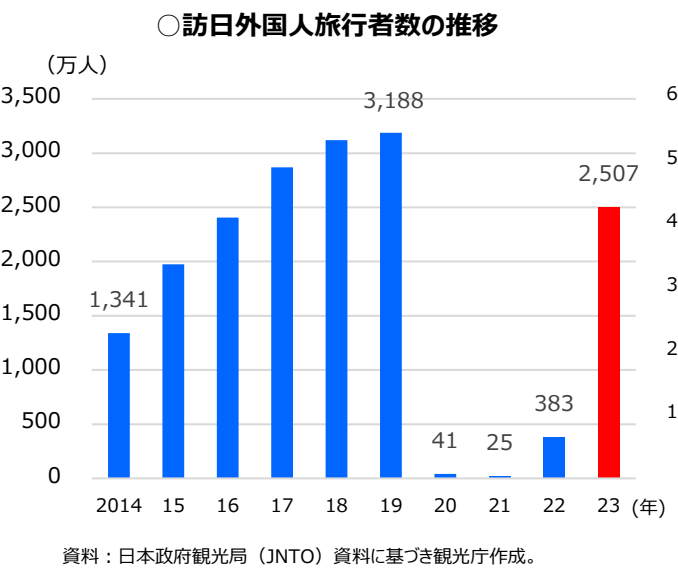
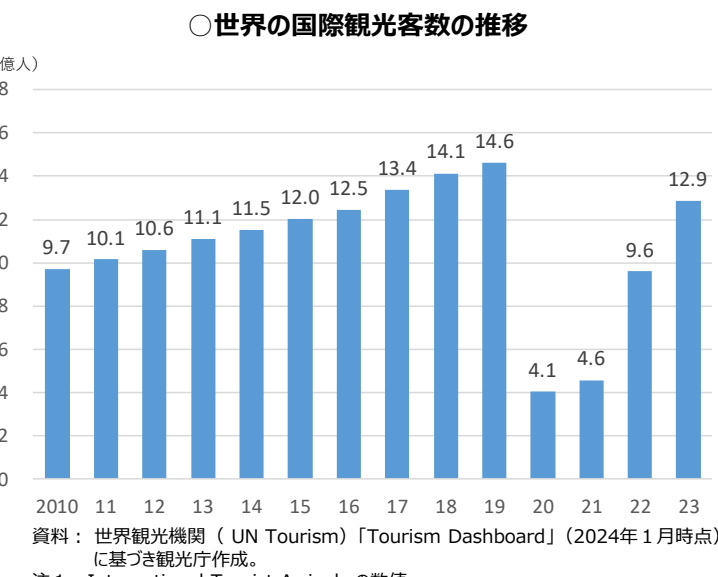
第3章 インバウンドの地方誘客と消費拡大に向けて（テーマ章）

- 1 インバウンド観光の現状と課題
- 2 地方部におけるインバウンド観光の動向と地域の取組事例
- 3 訪日外国人旅行者の地方誘客と消費拡大に向けて

第Ⅱ部 令和5年度に講じた施策 / 第Ⅲ部 令和6年度に講じようとする施策

世界と日本の観光の動向

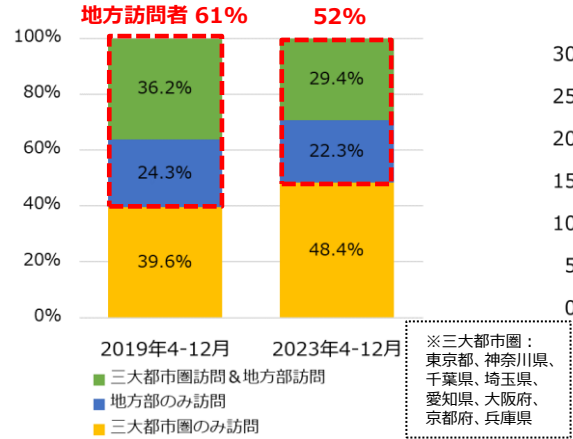
- **世界と日本の観光需要は急速に回復。**2023年の訪日外国人旅行者数は約2,507万人となり、コロナ前の約8割まで回復。同年の訪日外国人旅行消費額は、約5.3兆円と過去最高。日本人国内旅行消費額についても、2023年はコロナ前の水準まで回復。
- 他方、**外国人延べ宿泊者数の7割超が三大都市圏に集中**しており、**観光需要の回復は宿泊先地域により偏在傾向**がみられる。



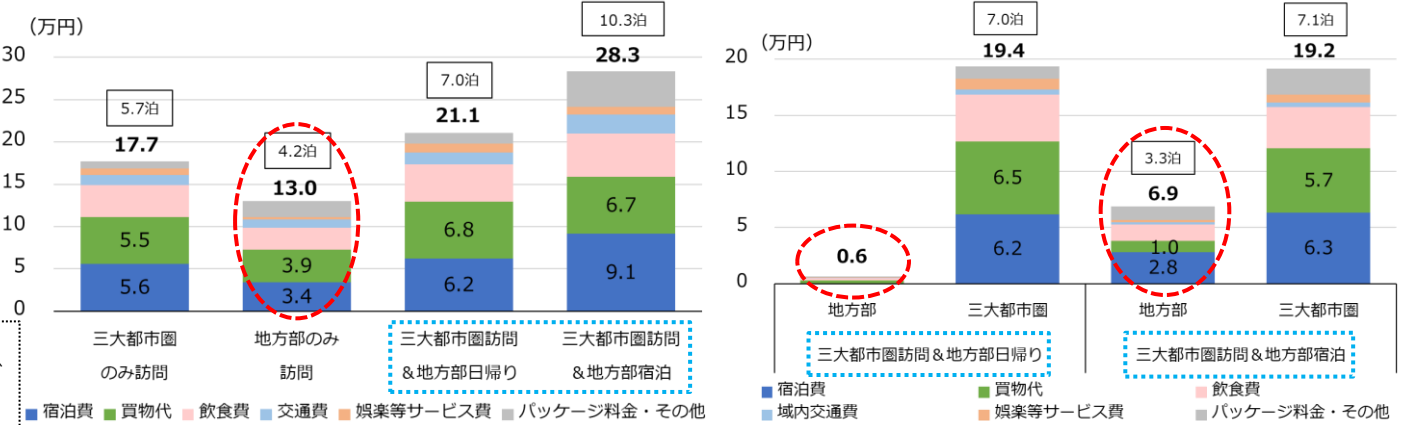
インバウンドの地方誘客と消費拡大に向けて

- **地方部訪問者**（地方部に日帰りで訪問する場合を含む）は、**訪日外国人旅行者全体の約5割**。
- 地方部のみ訪問した旅行者の消費単価は13.0万円。三大都市圏及び地方部の両方を訪問した旅行者のうち、地方部**宿泊**旅行者の地方部での単価は約7万円と地方部**日帰り**旅行者の約11倍。**地方部での「滞在」促進による地方部における消費誘発効果大きい**。
- 地方部における道県別の**外国人延べ宿泊者数**をみると、**北海道、福岡県、沖縄県に集中**。コロナ前と比べ、高知県、栃木県、九州各県や石川県等で増加。**欧米豪客に絞ると、地方部全体でコロナ前より増加**。特に沖縄県、石川県、四国・九州各県で増加率が高い。

○訪日外国人旅行者の訪問パターンの構成割合

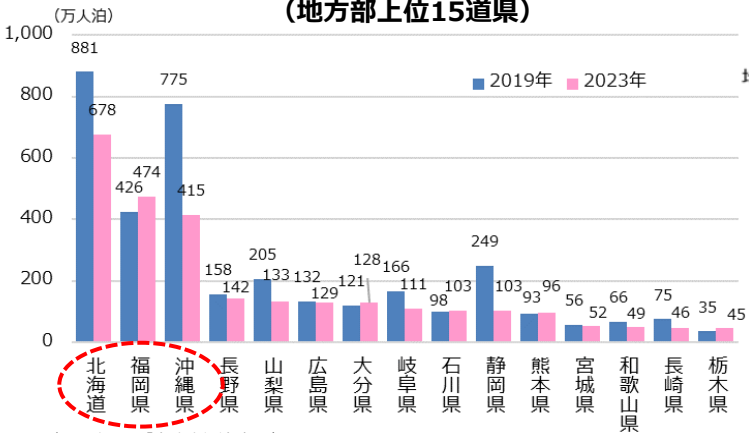


○訪問パターン別費目別消費単価及び平均泊数（全国籍・地域・2023年）

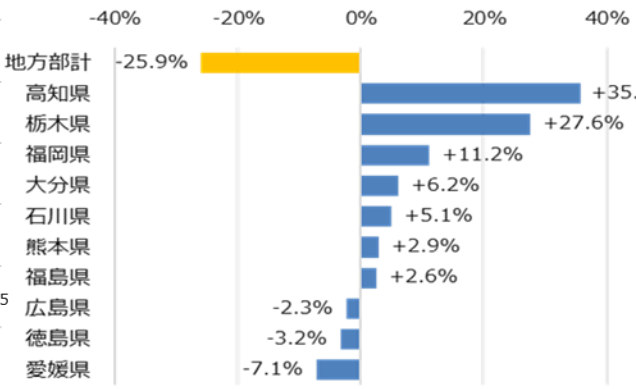


資料：観光庁「訪日外国人消費動向調査」地域調査個票データ（観光・レジャー目的、2019年4-12月期及び2023年4-12月期（参考値））により作成。
 注1：「訪日外国人消費動向調査」では、訪日外国人全体及び国籍・地域別の消費動向を把握するための「全国調査」とは別に、訪問都道府県別の消費動向を把握するための「地域調査」を実施。訪日外国人全体の日本国内における消費額である「訪日外国人旅行消費額」は「全国調査」から推計したもの。
 注2：「地域調査」は、新型コロナウイルス感染症の影響により2020年4-6月期～2023年1-3月期は調査を中止したため、2023年暦年データは同年1-3月期データを含まない。
 注3：「訪問」は、三大都市圏や地方部に宿泊を伴って訪問する場合のみならず、**日帰りで訪問する場合を含む**。なお、2023年4-12月の訪日外国人旅行者（観光・レジャー目的）全体に占める日帰り旅行者の割合は0.1%。

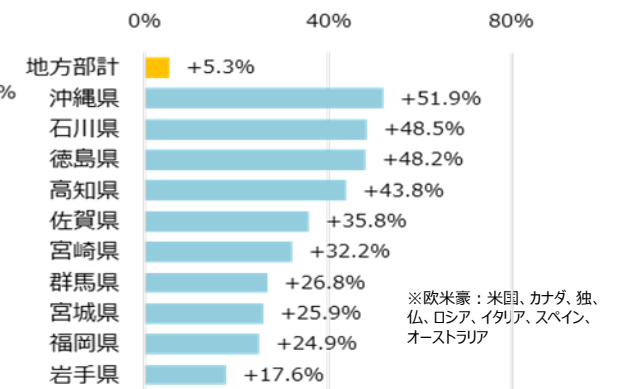
○地方部における道県別外国人延べ宿泊者数（地方部上位15道県）



○外国人延べ宿泊者数の2019年比（2023年、地方部上位10県）



○欧米豪客延べ宿泊者数の2019年比（2023年、地方部上位10県）



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」
注1：2023年は速報値。

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」
注1：2023年は速報値。

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」
注1：2023年は速報値。
注2：従業者数10人以上の施設を対象とした数値。

インバウンドの地方誘客と消費拡大に向けて(地域の取組事例)

- 高付加価値なインバウンド観光地づくりに取り組むモデル地域から、特にインバウンド観光指標の回復が堅調なエリアを事例として選定。
- 地方部での消費拡大に向けては、地域独自の資源を生かした**地域ならではの質の高い体験コンテンツの造成・磨き上げ**、域内外の様々な主体との連携等による**広域周遊の促進**や**戦略的な発信**、**滞在体験の魅力向上**等による**長期滞在の促進**などの取組が不可欠。
- さらに、観光人材や交通手段の確保など各地域における供給面の課題を踏まえ、受入環境の整備・拡充に取り組むとともに、**観光地・観光産業の高付加価値化による収益性の向上**が重要。観光客の受入れと住民の生活の質の確保を両立させつつ、**持続可能な観光地域づくり**の実現を目指していく必要。

岩手県 (東北エリア)

豊かな自然資源を活用した
広域周遊や滞在の促進等

〔取組〕

- 東北各地の豊かな自然を満喫できる「**みちのく潮風トレイル**」※、「**TOHOKU Drive Route**」の発信等による**広域周遊の促進**
※ 青森県八戸市～福島県相馬市を結ぶ長距離自然歩道
- **十和田八幡平国立公園**における滞在体験の魅力向上、**宿泊施設の高付加価値化**等による**長期滞在の促進** (八幡平、花巻、天童等)

みちのく潮風トレイルルートでの特別体験



十和田八幡平国立公園の拠点再生



宿泊施設の高付加価値化 (八幡平)



〔主な成果〕

- **欧米や東南アジア客の来訪・宿泊増**
- **東北地域内での訪問が広域化**
東北地域訪問者の域内の他地域訪問数
(2023.1-9、東北観光DMP海外動態データ)
140スポット (2019年差+15) 216.1万人 (2019年比+42.8%)

石川県

地域の伝統文化を生かした特別な体験の
提供や多様な主体との積極的な連携

〔取組〕

- **石川ならではの高付加価値体験コンテンツの造成・提供**
(加賀友禅・丸谷焼等の伝統工芸の工房訪問、金沢芸妓、白山信仰体験等)
- **高付加価値な観光地域づくり** (加賀温泉)
- **周辺地域との連携による周遊・滞在促進**
・「北陸・飛騨・信州3つ星街道」の整備・発信
・富裕層向け「金沢・富山ガストロリズム」等の造成

加賀地域における伝統文化体験

「金沢一期一会」加賀友禅染め体験



〔主な成果〕

- **欧米豪客の来訪・宿泊増**
・石川県の外国人延べ宿泊者数 (2023年、2019年比)
米国：67%増、豪：42%増、イタリア：39%増
・兼六園入園者数(2023年、2019年比)
欧州：16%増 米国：48%増

熊本県

地域の自然・社会との共生を実現する
サステナブルな滞在拠点へ

〔取組〕

- **地域独自の資源を維持・再生するための体験コンテンツの開発・提供**
・カルデラの草原でのサイクリング・乗馬等の特別な体験
参加費の一部を草原保全料として地域に還元 (阿蘇)
・地域の第一次産業従事者との協働による農業・林業体験 (南小国)
・熊本侍文化体験や熊本城での食事体験等 (熊本)
- **宿泊施設等の高付加価値化、ナイトタイム・早朝コンテンツ造成等による滞在促進**

草原でのアクティビティツアー (阿蘇)



侍文化体験 (熊本)



〔主な成果〕

- 「**世界の持続可能な観光地100選**」選定 (阿蘇)
- **幅広い国籍の旅行者の来訪・宿泊増**
・熊本県の外国人延べ宿泊者数 (2023年、2019年比)
台湾：12%増、シンガポール：61%増、タイ：57%増、米国：45%増
・「阿蘇サステナブルツアー」参加者割合(2023年)
計405名のうちフランス36%、シンガポール11%、米国6%

令和5年度に講じた施策・令和6年度に講じようとする施策

観光立国推進基本計画に掲げる3つの戦略に基づき、各種施策を推進していく。

持続可能な観光地域づくり

観光産業の収益力・生産性を向上させ、地域社会・経済に好循環を生む仕組みづくりを推進

- 観光地・観光産業の再生・高付加価値化 (宿泊施設等の改修、廃屋撤去、面的DX)
- オーバーツーリズムの未然防止・抑制による持続可能な観光推進 (受入環境の整備・増強、マナー違反行為の防止・抑制等)
- 観光地・観光産業における人材不足対策 (観光人材の育成、人材活用の高度化に向けた設備投資支援)



宿泊施設の大規模改修



地域一体となったキャッシュレス化



スマートごみ箱 (受入環境の整備・増強の例)



観光マナー啓発看板 (マナー違反行為の防止・抑制の例)



観光人材育成



配膳ロボット (設備投資支援の例)

地方を中心としたインバウンド誘客

消費額拡大・地方誘客促進を重視

- コンテンツ等の整備 (特別な体験の提供等)
- 高付加価値旅行者の誘致 (全国11モデル地域)
- MICEの推進 (海外ビジネス客の訪日・消費拡大)
- アウトバウンド・国際相互交流の促進



厳島神社夜間特別拝観 (特別な体験の提供の例)



高付加価値旅行者を惹きつけるコンテンツの創出

国内交流拡大

人口減でも国内旅行の実施率向上、滞在長期化を図る

- ワークেশンの普及促進 (ノマドワーカー・子育て世代に対応したモデル実証)
- 継続的かつ多頻度での来訪の促進
- ユニバーサルツーリズムの普及・定着
- 国内旅行需要の平準化の促進



ワークেশンの普及促進



継続的かつ多頻度での来訪の促進